

< もくじ >	
1. 2022年度連続講座「長寿時代を生き抜く知恵」のお知らせ（再掲）	1
2. 研究会からのお知らせ	1
3. 研究会からの概要報告	2
4. 事務局からのお知らせとお願い	4

## 1. 2022年度連続講座『長寿時代を生き抜く知恵』のおしらせ（再掲）

平均寿命が男女とも80歳を超え、ほぼ9割の人が65歳まで生きるという本格的な長寿時代がやってきました。長生きはめでたいことなのに、現在の日本では、少子化のさらなる進展、景気の低迷、物価高、コロナ感染への不安、国際関係の緊張など必ずしも長寿を喜べないような不安材料が山積しています。安心して高齢期を迎えるうえで、この講座がお役に立てることを心より願っております。なお、オープン講座ですので、会員以外の方の参加も歓迎いたします。

### ◆第1回テーマ：ICTで広がる世界～ICT利用のコツと注意事項

日 時：9月10日（土） 14：00～16：00

講 師：八巻睦子（一般社団法人シニア社会学会運営委員、社会情報研究会）

### ◆第2テーマ：介護が必要になったら～上手に使おう介護保険

日 時：10月15日（土） 14：00～16：00

講 師：角田とよ子（一般社団法人シニア社会学会会員、株式会社wiwiv キャリアと介護の両立相談室長）

### ◆第3回テーマ：成年後見制度と老後にかかるお金について～ライフプランと終活を考えよう

日 時：11月12日（土） 14：00～16：00

講 師：宗像亜矢子（コスモス成年後見サポートセンター埼玉支部会員・行政書士）

※ 東京家政学院大学との共催

※ 会場：東京家政学院大学三番町キャンパス 1301 教室

※ Zoom 併用によるハイブリッド開催

※ 参加費：会員・非会員共に 各回 1,000 円（支払い方法：Peatix、口座振り込み、当日会場にて支払の何れか）、学生無料

尚、詳しくは添付します「連続講座」のお知らせチラシを参照ください。

## 2. 研究会からのお知らせ

### （1）第24回「YNS やまぶき任意後見サポート会」開催のお知らせ

1) 日 時：2022年8月27日（土） 17：00～20：00

2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201

3) 発表者：鈴木 眞澄及びその他 YNS やまぶき任意後見サポート会

4) テーマ：認知症と任意後見制度

びしょうざ  
劇団「B笑座」第11回。

「認知症とともに生きる」です。  
認知症らしさを体験することで新たな発見が生まれます。  
劇団員募集しています。Zoomの参加もできます  
11月5日、江東区社会福祉士会で開催予定です。

※お問い合わせは、鈴木 眞澄 ([mme\\_masumi@yahoo.co.jp](mailto:mme_masumi@yahoo.co.jp)) 迄お願いいたします。

## (2) 第35回「ライフプロデュース」研究会のご案内

- 1) 日 時：2022年8月31日(火) 17:30~19:30 Zoom開催。
- 2) テーマ：「安倍元首相銃撃事件 いま問われるもの 我々は、事件から何を学べるのか。」  
誰もができれば話題にしたい、複雑な気持ちになるテーマだろう。だが、避けては通れない  
テーマである。今回は、研究会メンバーの臨床心理士、岡田慶子さんが、キーワードに「孤立」  
を据え、山上徹也容疑者の生い立ち(母子関係を中心に)、「複雑性PTSD」、ネグレクトによる  
虐待サーバイバー、社会背景として「生きづらさ」の問題などについてレクチャー後、自由に  
意見交換を予定しています。(※但し、「世界平和統一家庭連合」についての深掘りについては  
避けましょう)。  
参加希望の方は、岡田慶子さんの資料とともに、Zoom招待状を送りますので、中村までご連絡  
ください。

※ 連絡先：[nakamurayoshiko6@gmail.com](mailto:nakamurayoshiko6@gmail.com)

## (3) 第34回「社会情報」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年9月21日(水) 15:00~17:00
  - 2) 場 所：Zoom開催
  - 3) 概 要：俱進会助成事業 インタビュー調査進捗検討
- ※ 参加ご希望の場合は、前日までに森 [moriyasu@ied.co.jp](mailto:moriyasu@ied.co.jp) までご連絡ください。

## (4) 第80回「シニア社会の「リテラシー」」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年9月22日(木) 15:00~18:00
  - 2) 場 所：早稲田大学・国際会議場4階第7共同研究室
  - 3) テーマ：発表と討議 — 岡本 行夫著『岡本 行夫自伝 危機の外交』(新潮社)を読んで
  - 4) 発表者：藤森 洵子
  - 5) 参加費：300円
- ※お問い合わせは、島村 ([ken-sima1941@jcom.home.ne.jp](mailto:ken-sima1941@jcom.home.ne.jp)) までお願い致します。

## (5) 第144回「社会保障」研究会開催のお知らせ

- 1) 日 時：2022年9月28日(水) 18:00~20:00
  - 2) 報告者：大上真一(国際経済研究機構・国際長寿センター 客員研究員)
  - 3) テーマ：「ヨーロッパにおける高齢者支援の動向」
  - 4) Zoomでいたしますので、参加を希望される方は、阿部と小島にご連絡ください。  
(阿部富士子 [fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp](mailto:fujiko-s@jeans.ocn.ne.jp) 小島みさお [kojima.misao01@gmail.com](mailto:kojima.misao01@gmail.com))
- ※ ご質問がありましたら、阿部(旧姓佐藤)まで 090-4436-6853

## 3. 研究会からの概要報告

### (1) 第23回「YNS やまぶき任意後見サポート会」の報告

- 1) 日 時：2022年6月25日(土) 17:00~20:00
- 2) 場 所：荒川区町屋2-21-2 フレスコ町屋 201
- 3) 発表者：鈴木 眞澄及び会員(YNS やまぶき任意後見サポート会)
- 4) テーマ：認知症を楽しく過ごすには

びしょうざ  
劇団「B笑座」第10回。

「人形劇」も混ぜて、楽しく寸劇を行いました。日々の練習の成果がでているでしょうか Zoom 参加者も増えました。今後に活かしたいと思います。

## (2) 第33回「社会情報」研究会の報告

1) 日 時：2022年7月20日(水) 15:00~17:00

2) 場 所：Zoomによるオンライン

3) テーマ：俱進会調査研究 インタビュー調査経過報告

### ① インタビューの進捗状況について

- ・あざみ野 8件終了。残り2件は、集会所が閉鎖のため、実施困難。
- ・市川 2件終了。7月24、26、28、8月4日各2名

### ② インタビューの感想について意見交換

- ・スマホをどう使っているかは、本人もよくわかっていないところがある。家族の利用の影響を受けているケースがあるので、配偶者などがどう使っているかという意見も聞けるとよい。ガラケーの延長で使っている人(通話のみなど、通信手段としてのみ利用)、男性に多い。楽しみのために使っていない? 出歩かないことも、PC利用に偏る要因なのでは。スマホの使い方の規定要因として家族の影響、PCの影響がある。
- ・スマホは個人財だが世帯財にもなっている。
- ・コロナの影響を聞いても「ない」と答えるケースが多い。対面の代替として、通信機器は利用していない(Zoomなど)。
- ・加齢の影響もある、職場などの友人が逝去するなどして交流機会が減少。
- ・電子決済など、高度なサービス利用に壁があるのでは? 「そこまで自分に必要ない」という考えになる。スマホを使いこなすことへの期待感が薄い。
- ・金融面のリスクに対して敏感な人が多い。地理的な利便性もあり、必要性を感じていない。
- ・スマホのセキュリティ意識がうすい。情報のガードが甘いとの指摘。アプリを自分の意志で入れたのか、最初から入っていたのかわかっていない人がいる。(森 記)

## (3) 第34回「ライフプロデュース」研究会の報告 (Zoom開催)

1) 日 時：2022年7月26日(火) 17:30~19:30

2) 参加者：計9名(70代の新参加者2名：男女一人ずつ)

3) テーマ：精神科医・和田秀樹氏の著書、「70歳が老化の分かれ道」と「80歳の壁」を読んだの感想&意見等々、フリーディスカッションで、各自”持論”を展開した。

ファシリテーター 若井泰樹さん、和田久子さん ※詳細は研究会ブログをご覧ください)

[生き生きと輝く70代80代シリーズ No7 【アウトプットすることの大切さ】 & 【86歳の壁】：ライフプロデュース研究会 \(sblo.jp\)](#)

### ★主な発言内容

- ・私はずいこの間、70歳になり、今回、このテーマは「おお、まさしく!」なのです。ようやく真面目に70歳に向き合う気になりました。また、会員として、この学会に「もう少し関わりたい」と思っている私には参加しやすい、「おお、まさしく!」のテーマでもありました。
- ・和田氏の著書は、若干“過激な表現”もあるが、自分としては、やはりシニアの健康法は「歩くこと」が重要であり、死ぬまで「達成感」を持ち続けること、「食事」に気を付けることは重要であると思う。(「ヒポクラテスのスープ」等、具体的な紹介あり)
- ・精神科医の立場で、「そこまで言っているのかな?」と感じる箇所もあるが、最終的には「自分の健康は、自分で守る(判断する)」ということが大切だと思う。
- ・自称、「健康オタク」のごとく、世の中の様々な「健康法」を試しているし、毎月「血液検査」も受けている。やはり、「リスク管理」は必要と感じ、実践している。

- 2冊の著書は、薬剤師の立場からも大いに賛同する。過剰に「薬」とか「サプリメント」に頼ることは否定的だ。
- 「嫌な人」とは付き合わない、「嫌な事」はしない等々を、常日頃から心掛けることが大切である。
- 高血圧の治療で、いつも忙しそうで患者と目も合わせず気持ちも口々に聴かない若い女医の処方に違和感と不安を感じ、降圧剤を飲むことを中断している。
- 90歳を過ぎた実母を見ていると、今でもイケメンの訪問歯科医の前では、意識して身ぎれいにし、うっすら口紅まで塗り（全員（笑））やはりいつまでもそういった「感情」を持ち続けることが元気の素となっているのではと感じている。
- 今、新たに伝統芸能の「神楽（かぐら）」にチャレンジ中で、70代80代のメンバーの活力の源泉は「伝統芸能」を若い世代へ継承していくという「使命感」だと感じている。

（若井泰樹 記）

#### （4）第142回「社会保障」研究会の報告

- 1) 日 時：2022年7月27日（水） 18:00~20:20
- 2) 報告者：佐藤 惟（東京福祉大学 講師）
- 3) テーマ：「単身高齢社会における人生会議のあり方とは」
- 4) 参加者：22名

「人生会議」とは、元々専門家の間で「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼ばれていた取り組みを、一般の人にもわかりやすくするために付けられた愛称である。ACPは、「人生の最終段階の医療・ケアについて、本人が家族等や医療・ケアチームと事前に繰り返し話し合うプロセス」などと定義されている。

2018年に国のガイドラインが改訂発出された事をきっかけに、「人生会議（ACP）」を進める機運は高まっている一方、「全国的な実施状況が明らかでない」、「プロセスが定まっていない」など様々な課題もある。さらに単身高齢社会が進展する中で、人生の最終段階に家族や親族を頼れない人が増えており、埋葬や葬儀といった死後の事も、一部で大きな問題となってきている。「人生会議（ACP）」をめぐることは、こうした家族に頼れない人への対応も大きな課題である。

こうした中で、報告者は「医療・ケア」に限らず人生の最終段階に関する諸々について、高齢者が元気なうちからある程度長期のスパンで関わり相談を受けられる「窓口」の存在が重要と考え、『意思決定の準備』モデルを構想した。「窓口」の役割を担うのは「相談援助」、いわゆるソーシャルワークの考え方を理解している者が望ましく、現在の在宅高齢者支援の現場で仕組み上、この役割を担う事になっているのは介護支援専門員であるとの認識から、介護支援専門員に対するインタビュー調査なども実施し、その結果を報告した。

報告後の質疑では、総合事業移行による看取り関連の市町村格差をどう考えるか、在宅でのACPを介護保険で進めるためのインセンティブはどうするかといった制度面の課題や、欧米発祥のACPの考え方と、「自己主張しないように」しつけられてきた日本人のメンタリティのズレをどうするかといった文化面の課題について意見が飛び交った。また、「ACPファシリテーター」を利用者の信頼が厚い理学療法士が務めたケースもあり、「窓口」の職種はフレキシブルなほうが良いという意見や、市民後見人としての実践経験から「窓口役は最低2人は必要ではないか」との提言もなされ、活発に議論が交わされた。

（佐藤惟 記）

## 4. 事務局からのお知らせとお願い

### ＜学会新リーフレット作成のお知らせ＞

長期計画検討委員会でコンセプトやキャッチコピーが検討された、学会の新リーフレットが作成され配布を始めました。デジタル版は学会ホームページからダウンロードしてご利用ください。学会説明など

で配布をしていただける方には三つ折りの印刷版をお送りします。

「印刷版新パンフレット希望」として、必要部数と郵送先を明記の上、シニア社会学会事務局あてに、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp でお申し込みください。学会説明用にエイジレスフォーラム 20 号も同封の上、お送りいたします。

#### < 会員情報変更時のご連絡のお願い >

コロナ禍中、各種ご連絡をeメールや郵送で行うことが多くなっております。会員情報（氏名・住所・eメールアドレス等）に変更が生じた場合は、速やかにご連絡くださいますようお願いいたします。

なお、電話による連絡はご遠慮いただいております。シニア社会学会事務局あてに、eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp 又は郵送いずれかの方法にてお知らせくださいますようお願いいたします。

#### < 9月 JAAS News の発行日 >

次回 JAAS News 第277号の発行日は、9月21日（水）です。原稿をお寄せ下さる方は、9月14日（水）までに、学会宛のeメール添付にてお願いいたします。

シニア社会学会 事務局一同

一般社団法人 シニア社会学会・事務局  
〒101-0054 東京都千代田区神田錦町3-21  
ちよだプラットフォームスクウェア1037  
電話を受けられる体制が整いましたらお知らせいたします。  
eメール：jaas@circus.ocn.ne.jp URL：http://www.jaas.jp/